



2022年 波乱の金融市場に於ける 暗号資産投資

マネックス証券 専門役員
マネックス仮想通貨研究所所長
大槻奈那
2022年1月

Artwork by Miya Kaneko

本日の内容

Section1 金融市場の動向と見通し

Section 2 暗号資産の市場動向

- ✓ 2022年と中長期の見通し
- ✓ 法定通貨vs暗号資産vs政府デジタル通貨



マネユニ・アカデミー 暗号資産講座 開講中！

メイン講師



松嶋 真倫

マネックス証券 マネックス・ユニバーシティ
暗号資産アナリスト

- 1 時間目 暗号資産とはなにか
- 2 時間目 暗号資産を取り巻く環境
- 3 時間目 暗号資産投資の基本
- 4 時間目 暗号資産投資のポイント
- 5 時間目 暗号資産の最新動向と将来像

マネックスの暗号資産関連情報

 **マネクリ** お金を学び、マーケットを知り、未来を描く

新着 人気 マーケット 特集 初心者 ライフデザイン 連載 著者 商品・サービス | マネクリとは

検索する



HOME > まるっと週刊ビットコイン予想 > BTC (ビットコイン) は暴落後に急回復、株式市場の好調に支えられ買い継続なるか

BTC (ビットコイン) は暴落後に急回復、株式市場の好調に支えられ買い継続なるか

まるっと週刊ビットコイン予想



マネックス仮想通貨研究所 2021/03/19



#暗号資産

#仮想通貨

- ✓ BTCは一時BTC=675万円(62,000ドル)付近まで高騰し最高値を更新、その後、米国取引所 Geminiへの大量送金を巡って様々な憶測が飛び交うなか一時BTC=578万円(53,000ドル)付近まで暴落したが、米FOMC声明を受けて株式市場の上昇とともに急回復
- ✓ 来週は株式市場の強い値動きに支えられ買い継続を予想、直近上値としてBTC=675万円(62,000ドル)、下値としてBTC=600万円(55,000ドル)を意識

暗号資産(仮想通貨)の相場レポートは、「ビットコイン相場【マネックスCB公式】」(マネックスクリプトバンク運営)をご覧ください!

関連記事



トルコリラ急落でBTC (ビットコイン) 取引が急増、リラ建ては世界5位に

2021/03/22

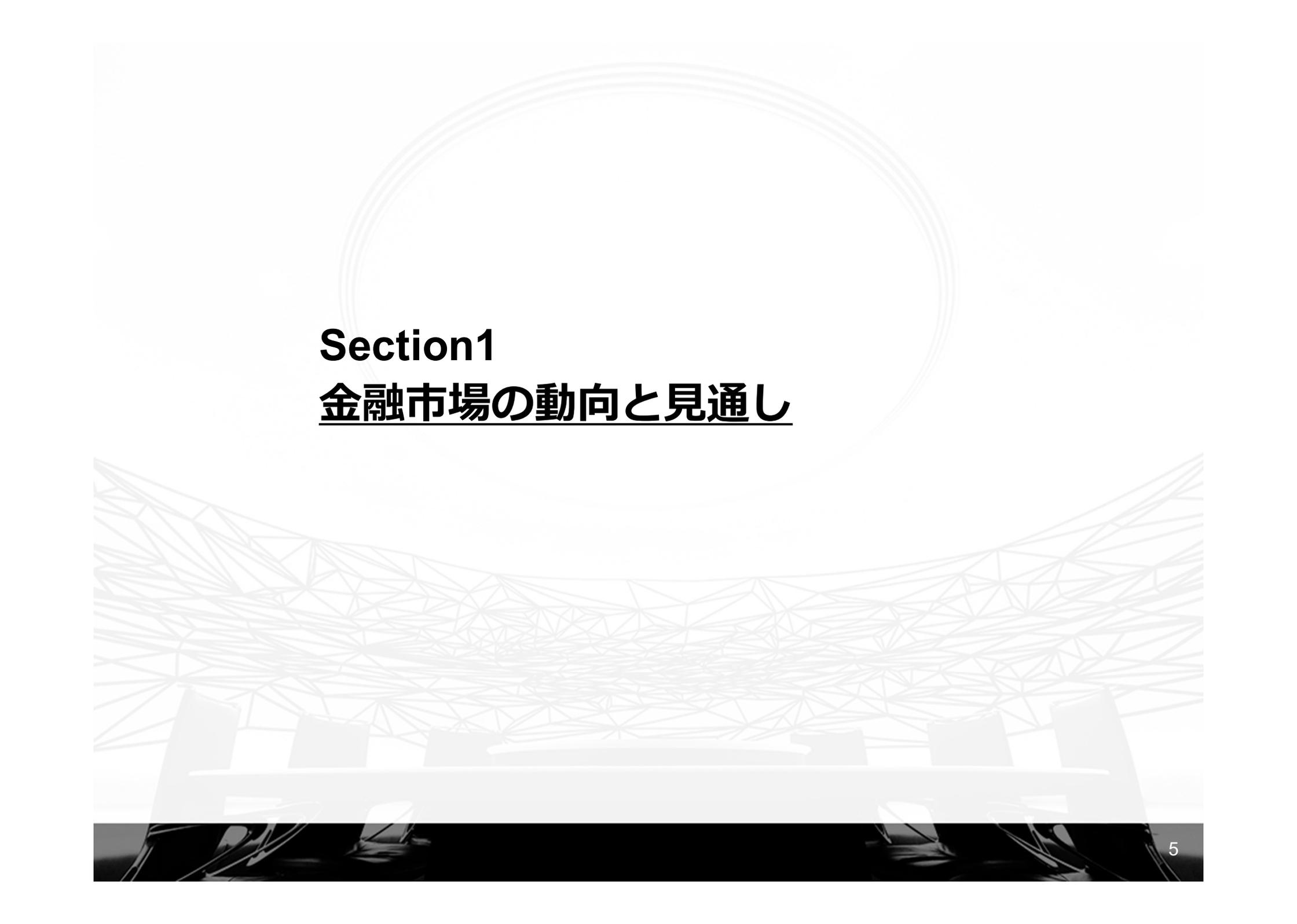


BTC (ビットコイン) が続伸し、3月14日に史上最高値を更新

2021/03/15



<https://media.monex.co.jp/category/crypto-outlook>



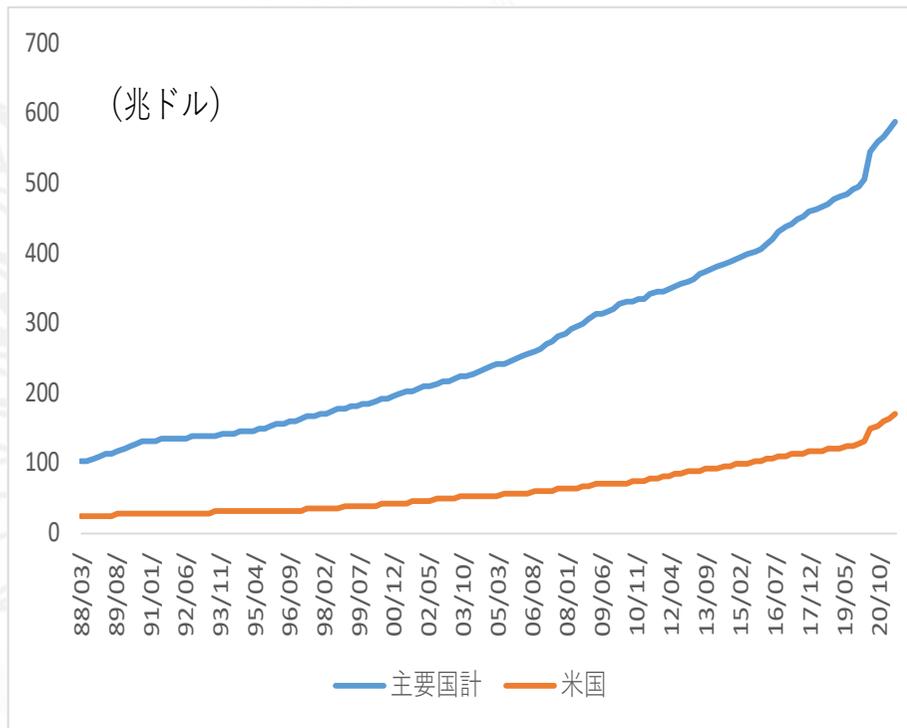
Section1
金融市場の動向と見通し

溢れるマネー

日米銀行の合計預金額も余剰資金も史上最大。
FRBの資産も過去最高の膨張

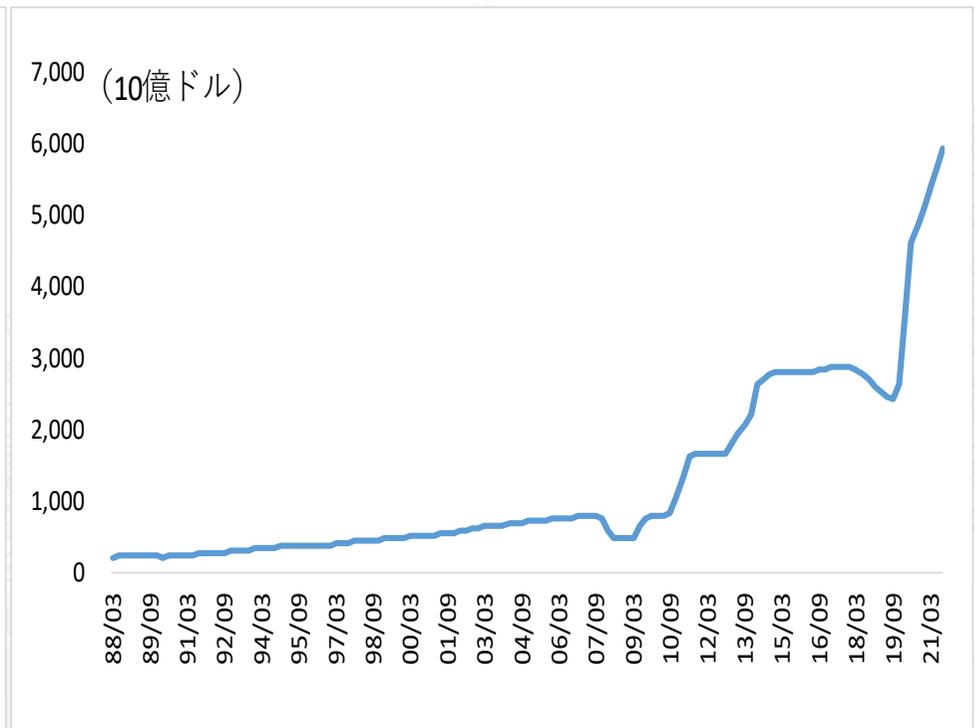
主要国と米国のマネーサプライ

(出所) セントルイス連銀



米国：FRBの資産残高

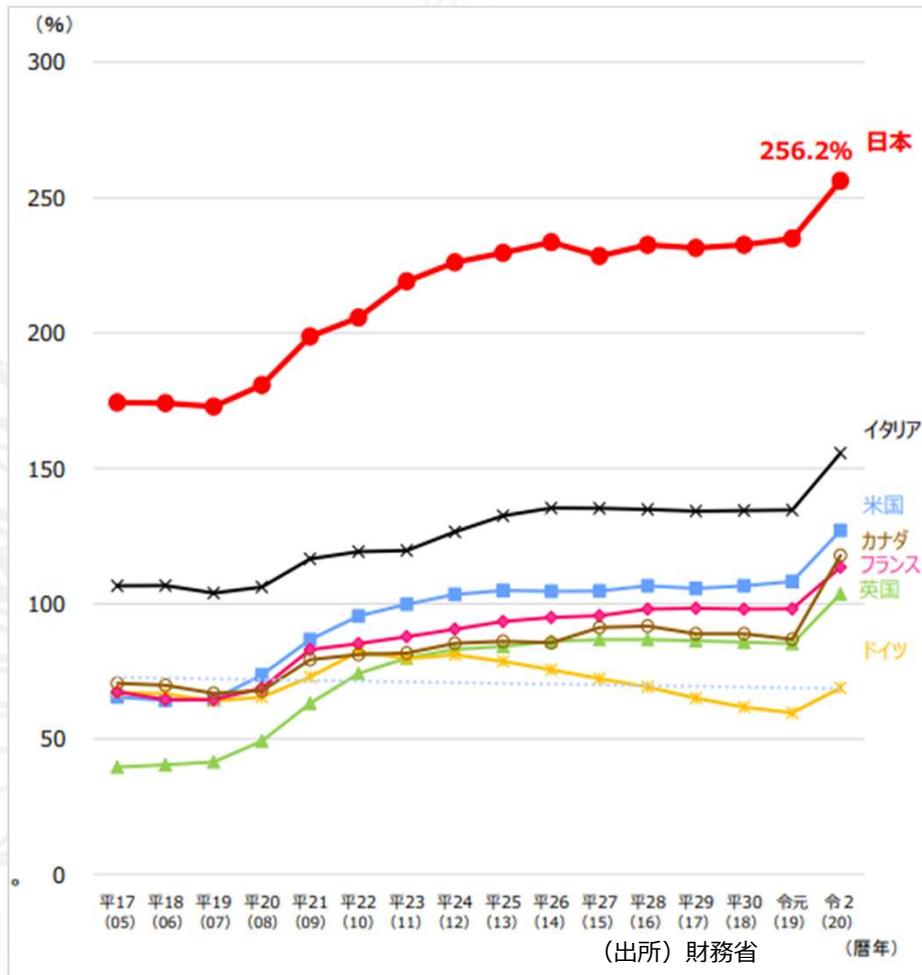
(出所) 米連邦準備制度理事会



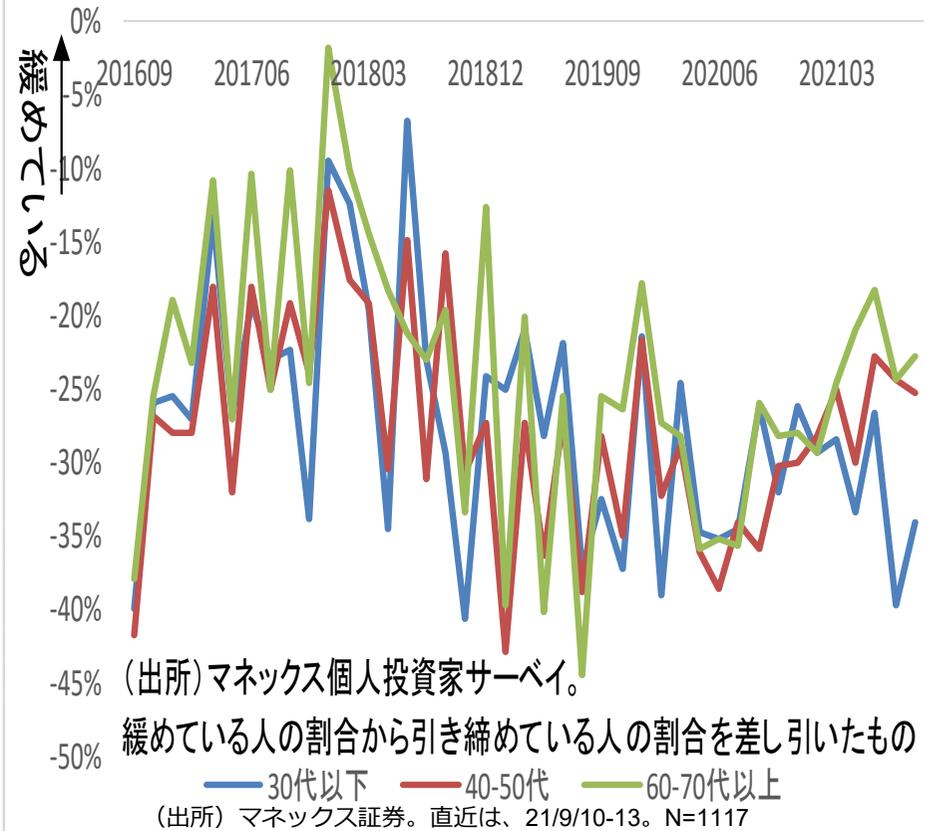
じわり広がる財政不安

財政不安は、個人・若年層にも広がる。

主要国の政府債務÷GDP比率



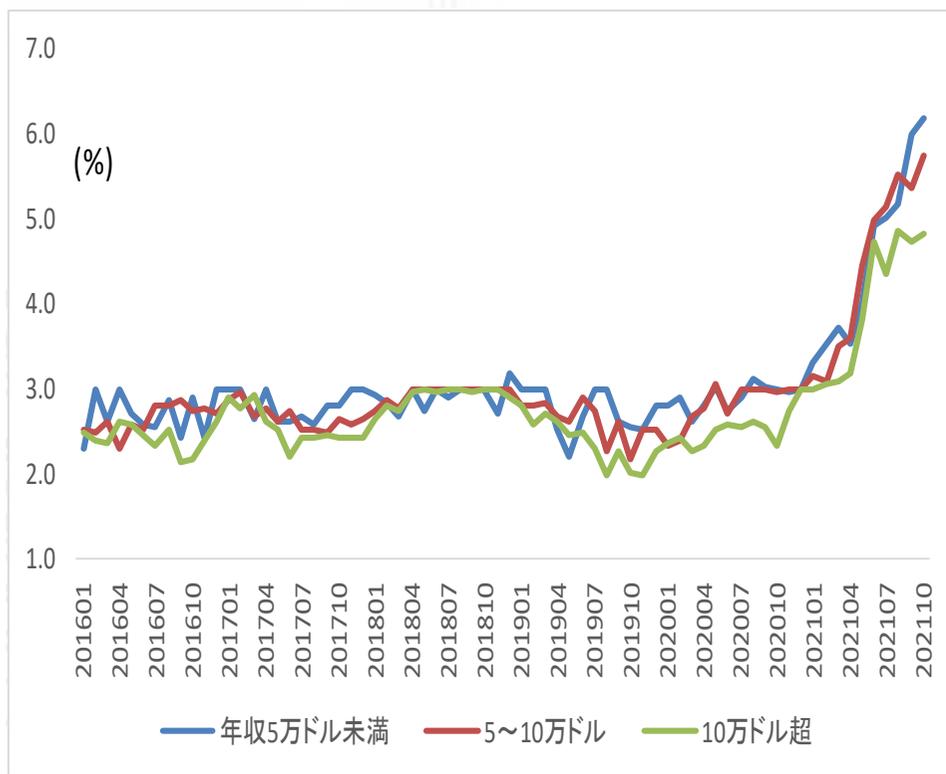
アンケート「前年比で財布の紐を緩めているか？」



インフレ率の上昇 = 法定通貨の価値下落

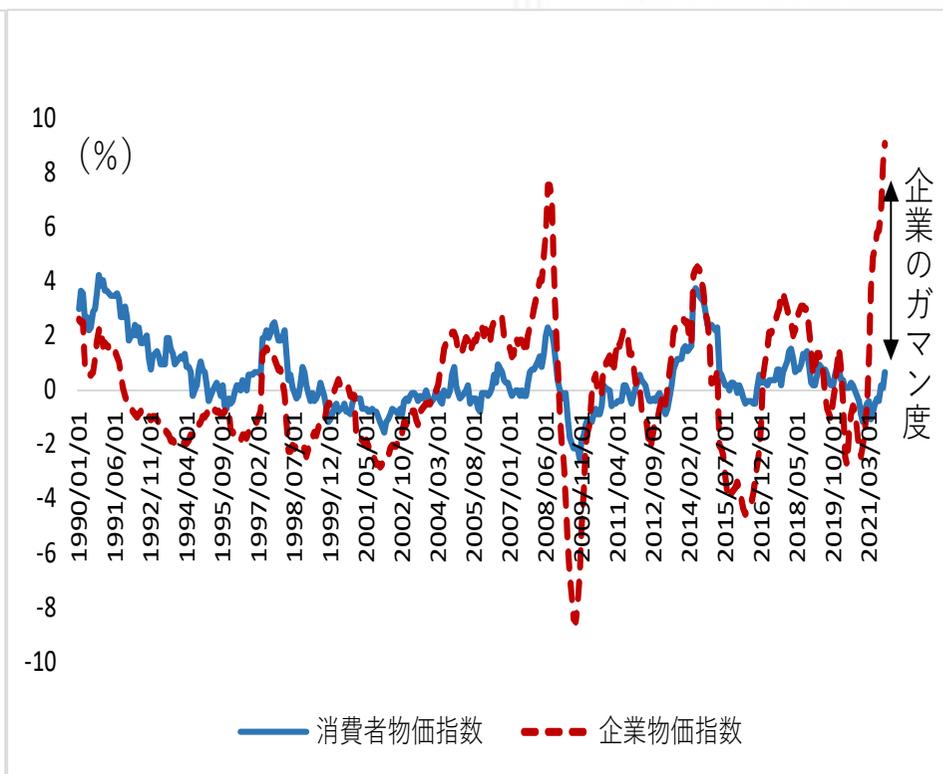
インフレは日本にも訪れる可能性

米国：インフレ率予想



(出所) ニューヨーク連銀、1年後の予想のサーベイデータ

日本：企業物価指数vs消費者物価指数



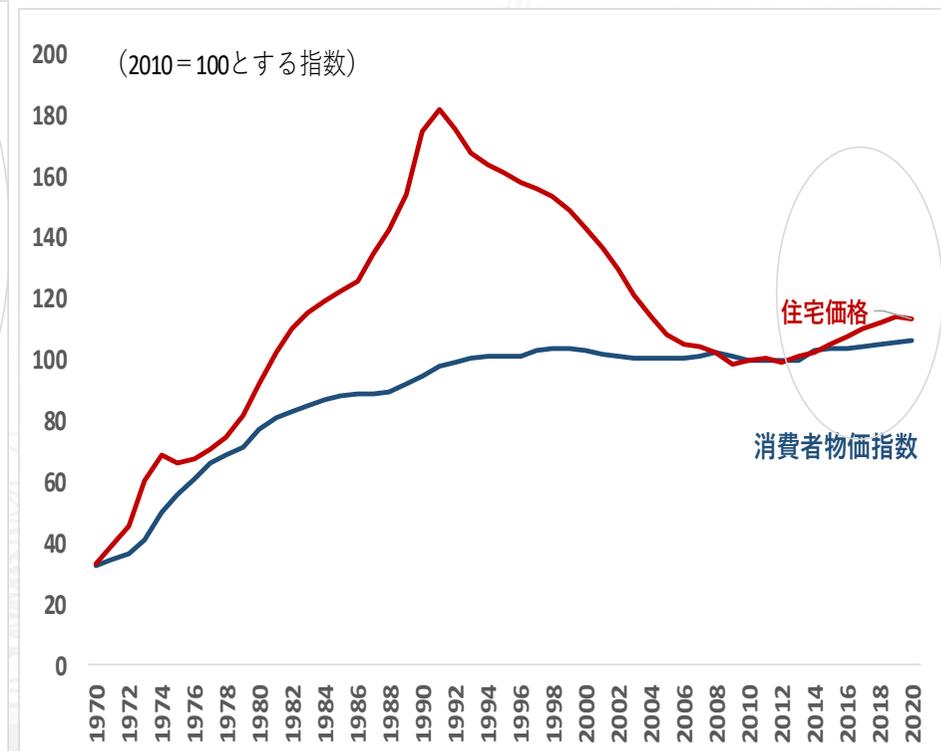
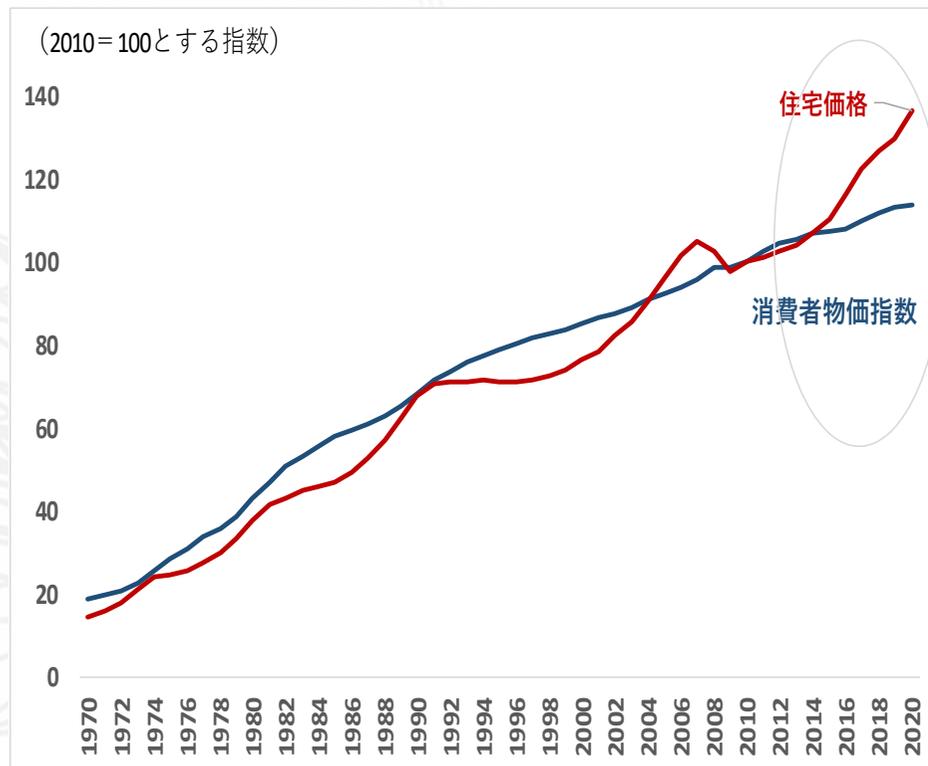
出所：日本銀行、総務省

インフレを超える資産価格上昇率

地価の上昇は主要国で消費者物価指数を上回る

G7平均：消費者物価指数vs住宅価格

日本：消費者物価指数vs住宅価格



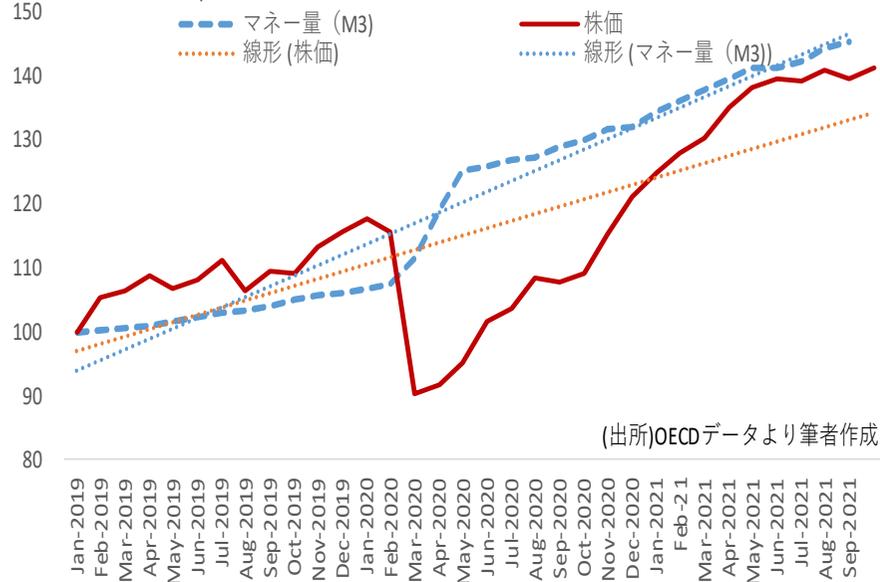
(出所) いずれも、BIS、世界銀行、OECDデータより筆者作成。2020年の消費者物価指数については、OECDと世界銀行のデータからの推計

インフレを超える資産価格上昇率（続き）

株価も上昇。株式市場の1ドルの投資が米株式時価総額の約5ドル
上昇につながったとする研究も (Gabaix&Kojien, 2021)

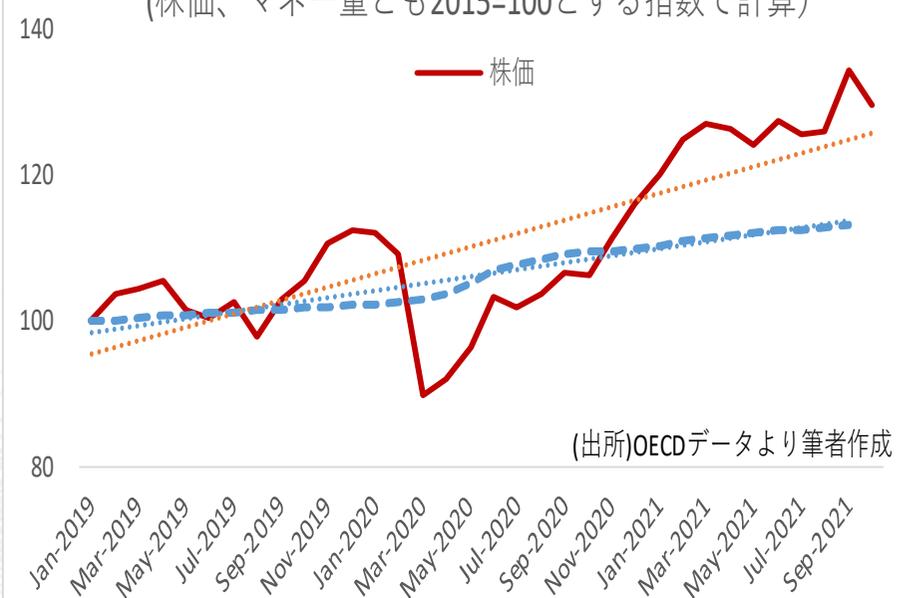
米国：マネーの量 vs 株価

(株価、マネー量とも2015=100とする指数で計算)



日本：マネー量 vs 株価

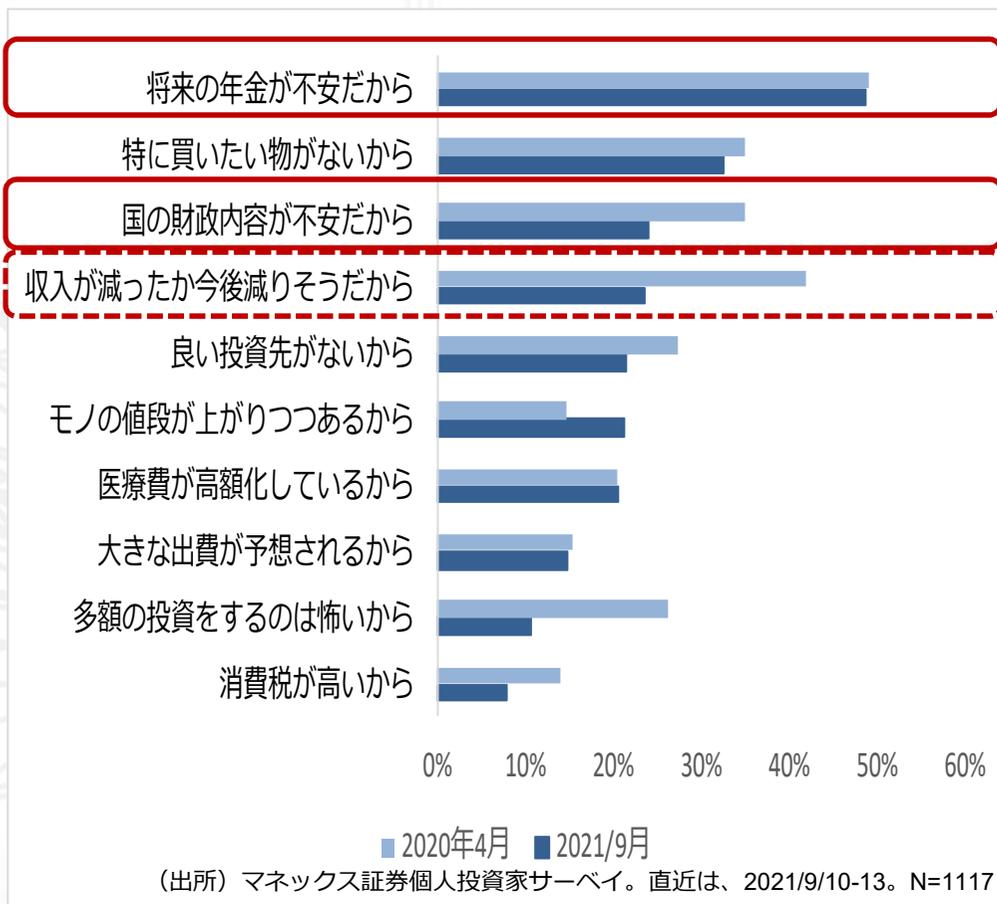
(株価、マネー量とも2015=100とする指数で計算)



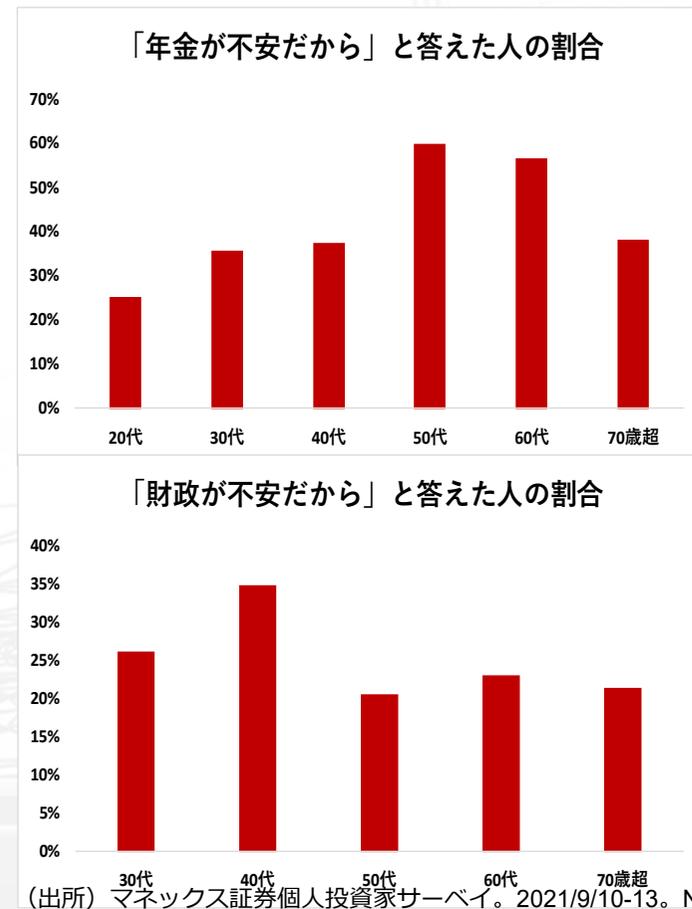
日本でじわり広がる財政不安

理由として、年金、財政不安等が上位。若年層にも広がっている

貯金を増やしたい理由は何か（複数回答） 年金不安が根強い

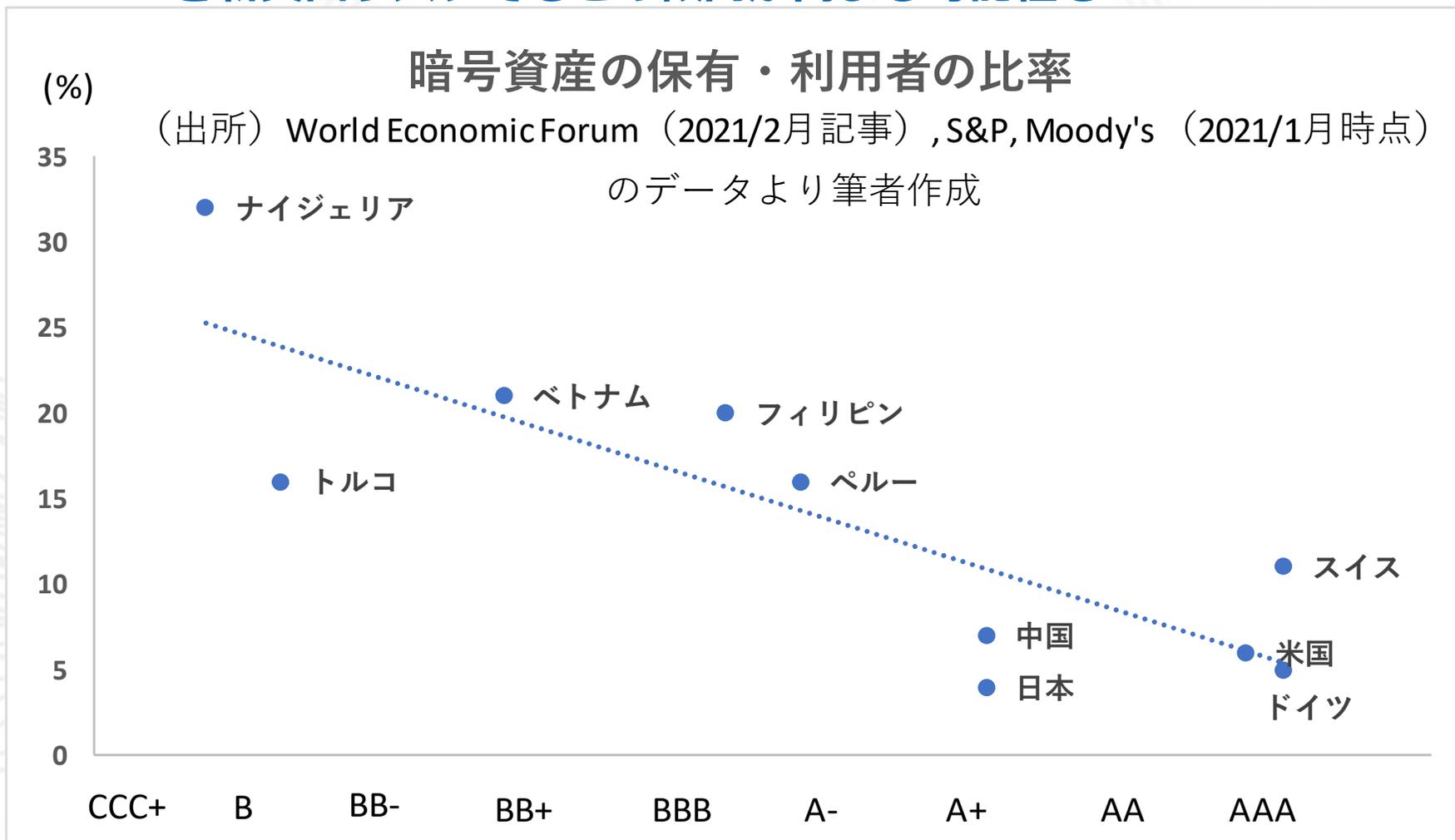


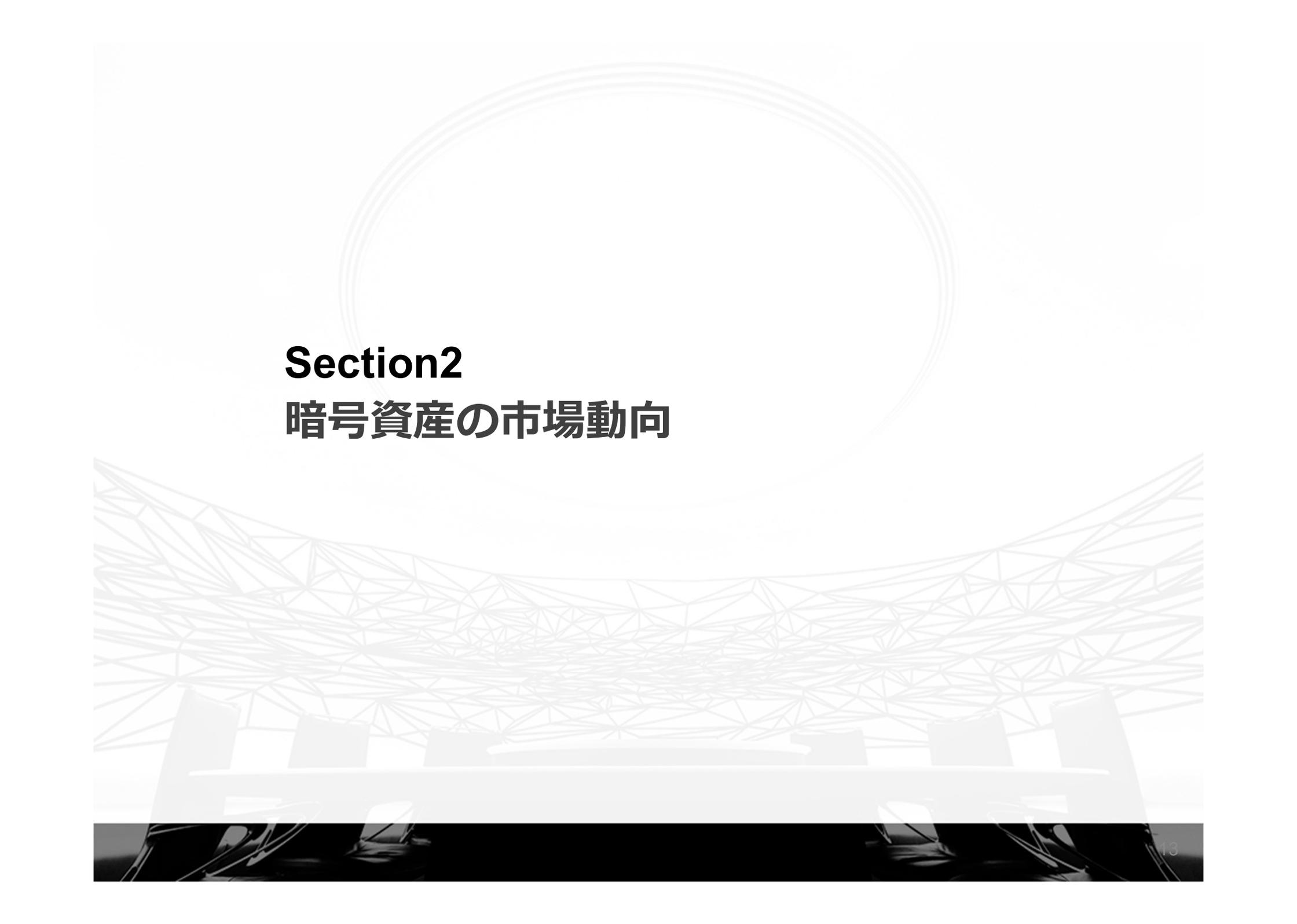
年代別の貯金を増やしたい理由



国の信用力低下→通貨への信認低下→暗号資産保有？

信用力が低い国では、暗号資産への保有比率が高い。来るべき新興国リスクでもこの傾向が高まる可能性も





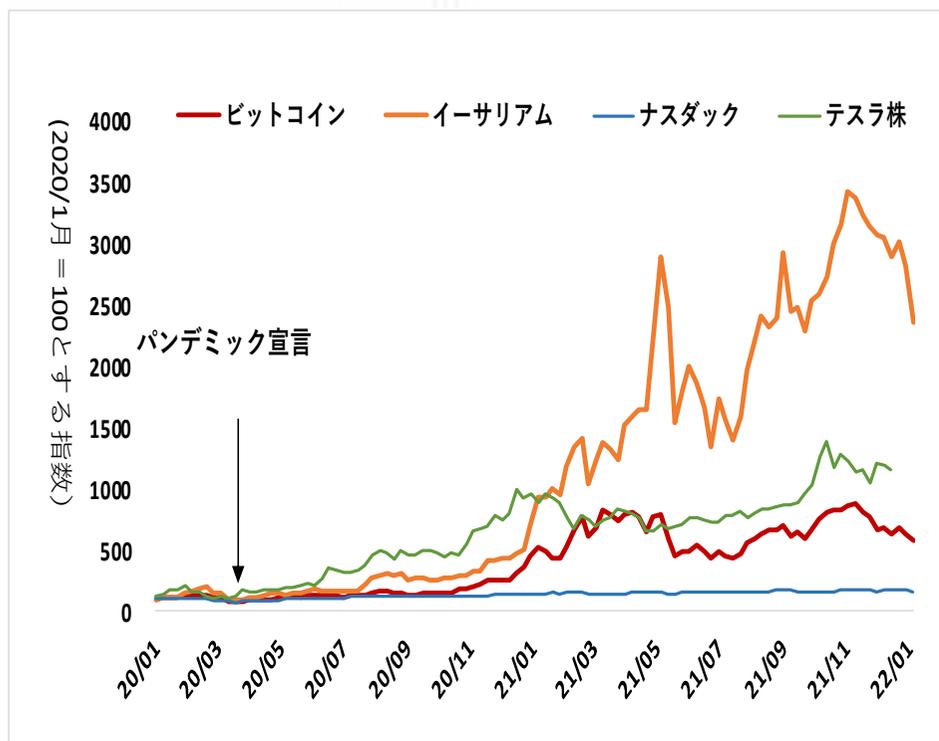
Section2

暗号資産の市場動向

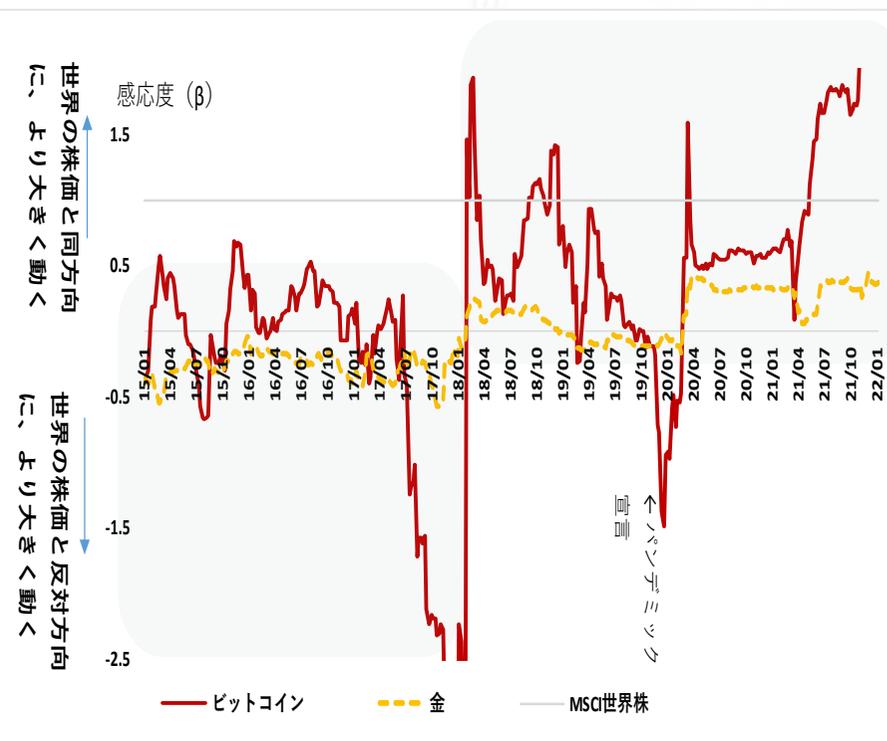
ビットコイン、イーサリアムの価格推移

かつては株価と無相関か負の相関、過去2年超は順相関。
イーサリアムがプレゼンスを拡大

暗号資産vs株価



暗号資産の世界株との連動性



(出所) いずれもブルームバーグ

金融市場と暗号資産の関係

法定通貨の領域を暗号資産がじわじわと浸食



エルサルバドル：
法定通貨にビットコイン追加



ブラジル：
給与の暗号資産払い法案？



ジンバブエ：
ビットコインを合法的な支払い手段として活用することを検討？



イラン：
**国際貿易におけるデジタル通貨の利用許可へ
(1/12報道)**

向上する暗号資産のプレゼンス：決済（続き）

- 米国では、ビットコインでの購入が可能な住宅も

@560BTC !



<https://www.cnbc.com/2021/10/07/miami-condos-for-sale-cost-31-million-or-about-560-bitcoin.html>

- Googleが、Google Playの一部で暗号資産での支払いを認めると発表（10/10）
- その他、一部で支払いでビットコインを認める企業が増加中
例：ペイパル、Visa、アマゾン、エクスペディア、Lush、サザビーズ、スターバックス、マイクロソフト（パイロットプログラムや間接的な利用を含む）（出所）
<https://www.euronews.com/next/2021/08/29/paying-with-cryptocurrencies-these-are-the-major-companies-that-accept-cryptos-as-payment>
- 日本でも、メガバンク、NTTグループ等日本の主力74社のコンソーシアムが22年後半にもデジタル通貨DCJPYの発行を検討

向上する暗号資産のプレゼンス：預金・運用

ブロックファイ：最大年利9.5%が付く暗号資産の預託口座を提供。

※米国当局が調査中

モルガンスタンレー他：個人富裕層向け暗号資産投資商品の提供を開始。

USバンク他：暗号資産のカストディサービスの提供を開始。

バイナンス：取引所口座を通じて暗号資産の貸し借りができるサービスを提供。

セルシウス：暗号資産を担保にステーブルコインや米ドルを借りられるサービスなどを提供。

フィンターテック：暗号資産を担保に日本円を借りられるサービスを提供。

ハッシュハブ：暗号資産を貸し出すことで金利を得られるサービスを提供。

新しい金融技術：DeFi

主にイーサリアムのプラットフォームズが使われる

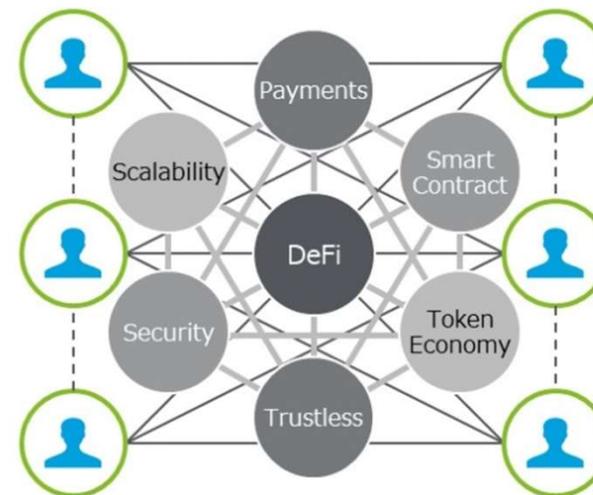
CeFi (中央集権型金融)	DeFi (分散型金融)
<ul style="list-style-type: none">・従来の金融機関（銀行や取引所など）の中で、暗号資産を取り扱うもの・中央管理者がサービス運営をする	<ul style="list-style-type: none">・さまざまな金融サービスを、ブロックチェーンを利用して提供するシステム・特定の組織によって管理されない、透明性の高いサービスの実現を目指す

(出所) コインチェック

既存金融のビジネス



DeFi: Decentralized Finance = 分散型金融



(出所) <https://www.sbbit.jp/article/fj/37485>

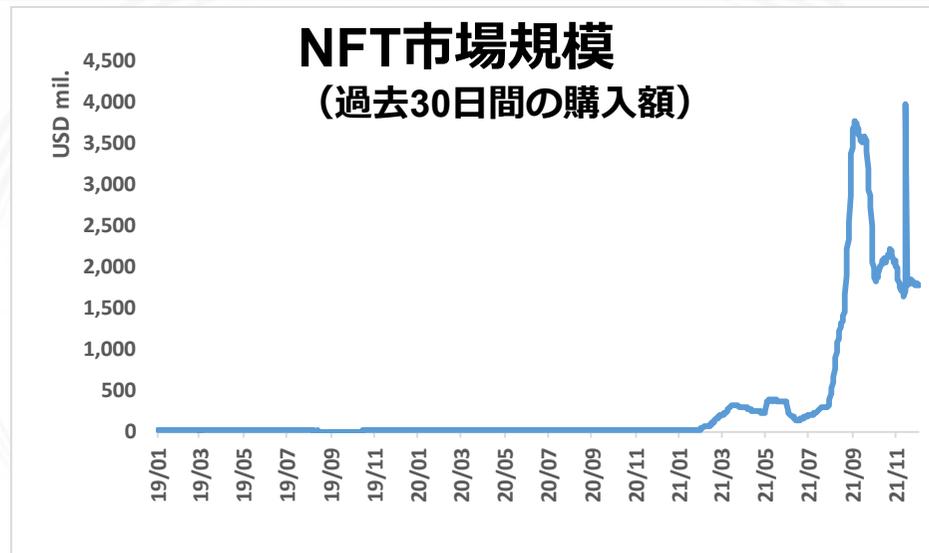
新しい金融技術：NFT

主にイーサリアムのプラットフォームが使われる

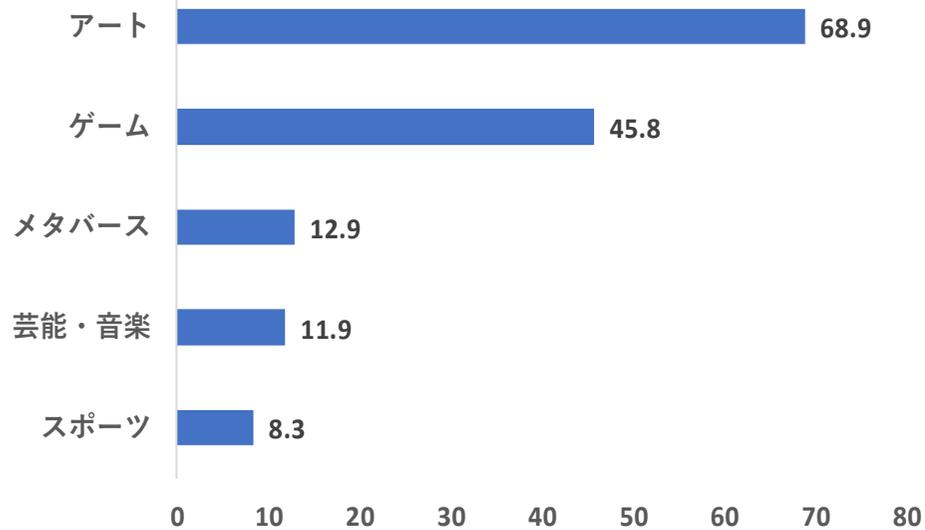
	NFT (ノンファンジブルトークン)	FT (ファンジブルトークン)
特徴	<ul style="list-style-type: none">・代替不可能・それぞれの財が固有の性格・価値を持つ	<ul style="list-style-type: none">・代替可能・一つ一つの財にはユニーク性が無く、その数量が価値・価格の大きさに比例する
事例	アート作品  不動産  ゲームキャラクター 	貨幣  株式  仮想通貨 

(出所) スタートバーン

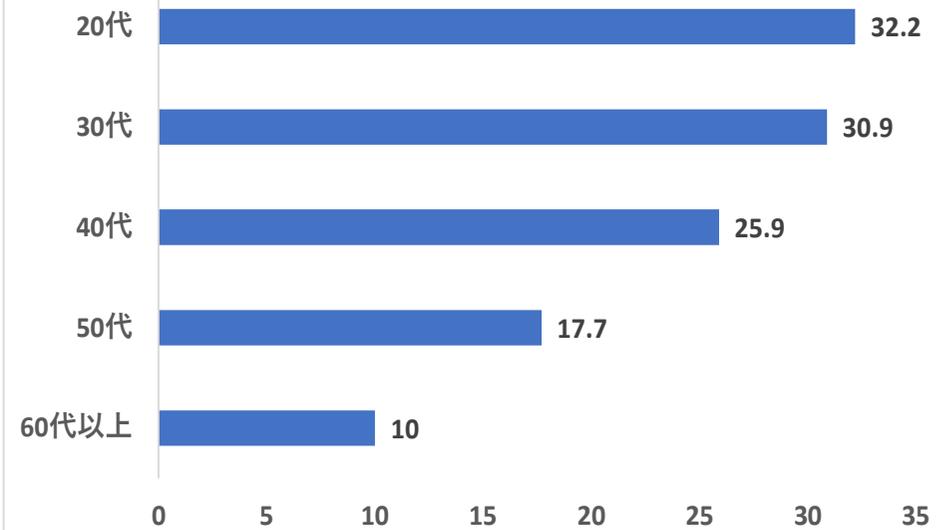
新しい金融技術：NFT



購入の対象



購入者の年齢

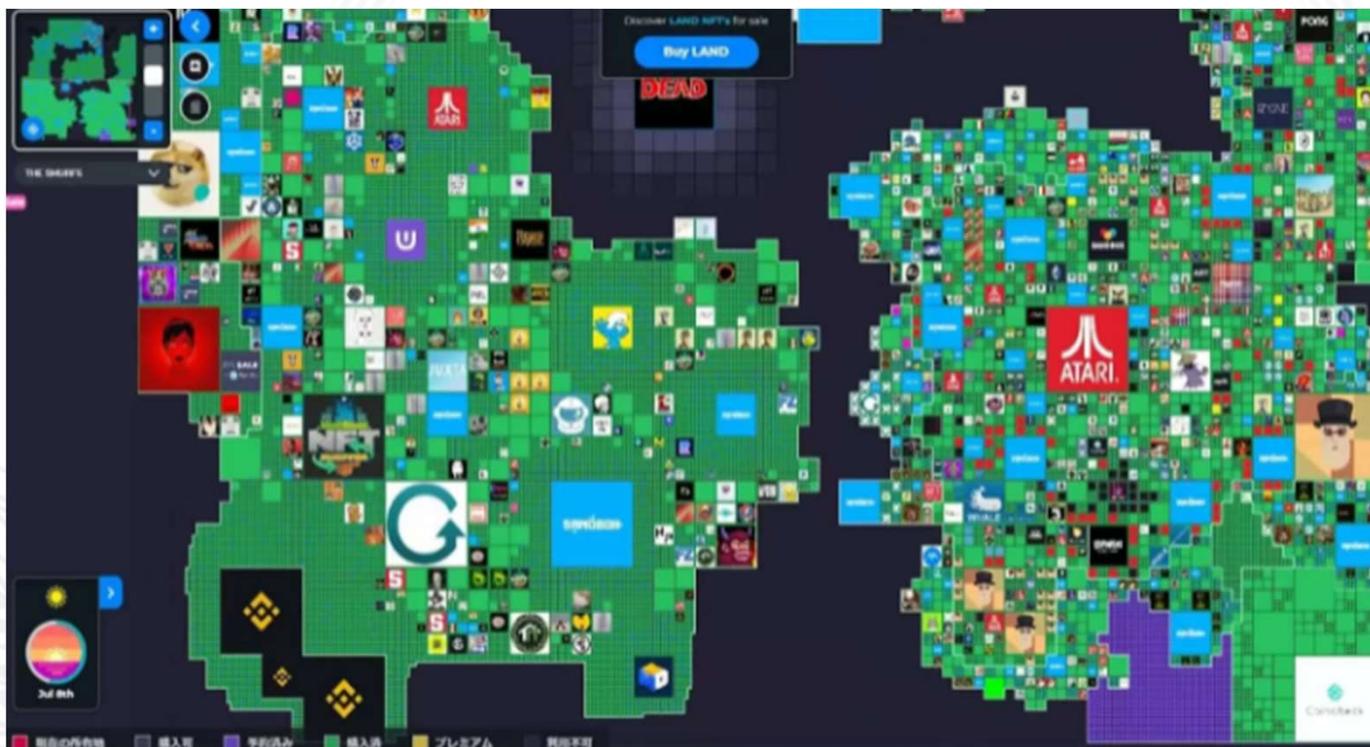


<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2111/27/news024.html>

新しい金融技術：NFT（続き）

例：THE SANDBOX

THE SMURFS 地区



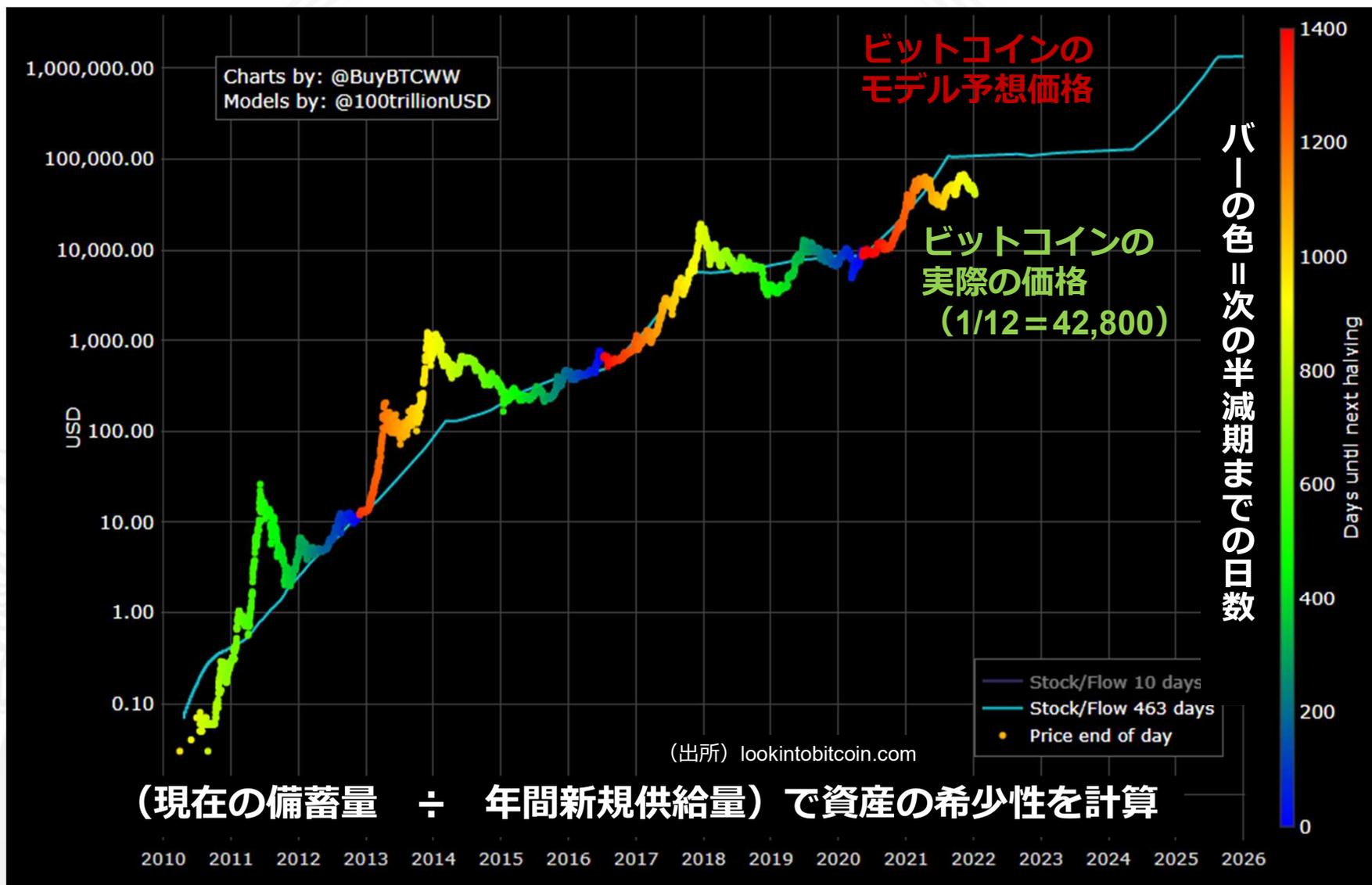
(出所) <https://hedge.guide/feature/sandbox-metaverse-bc202111.html>

LAND：メタバース上の土地。区画上限は166,464個
取引所Opensea上では1取引平均180万円程度
ESTATE：LANDをまとめた12の地域。サイズはX,M,L,XL

ビットコインの価格予想手法：ストック・トゥ・フロー

需給に基づく「Stock-to-flow」モデルの予想は、中期的に良好な予想力

ビットコインの価格 (対数目盛)

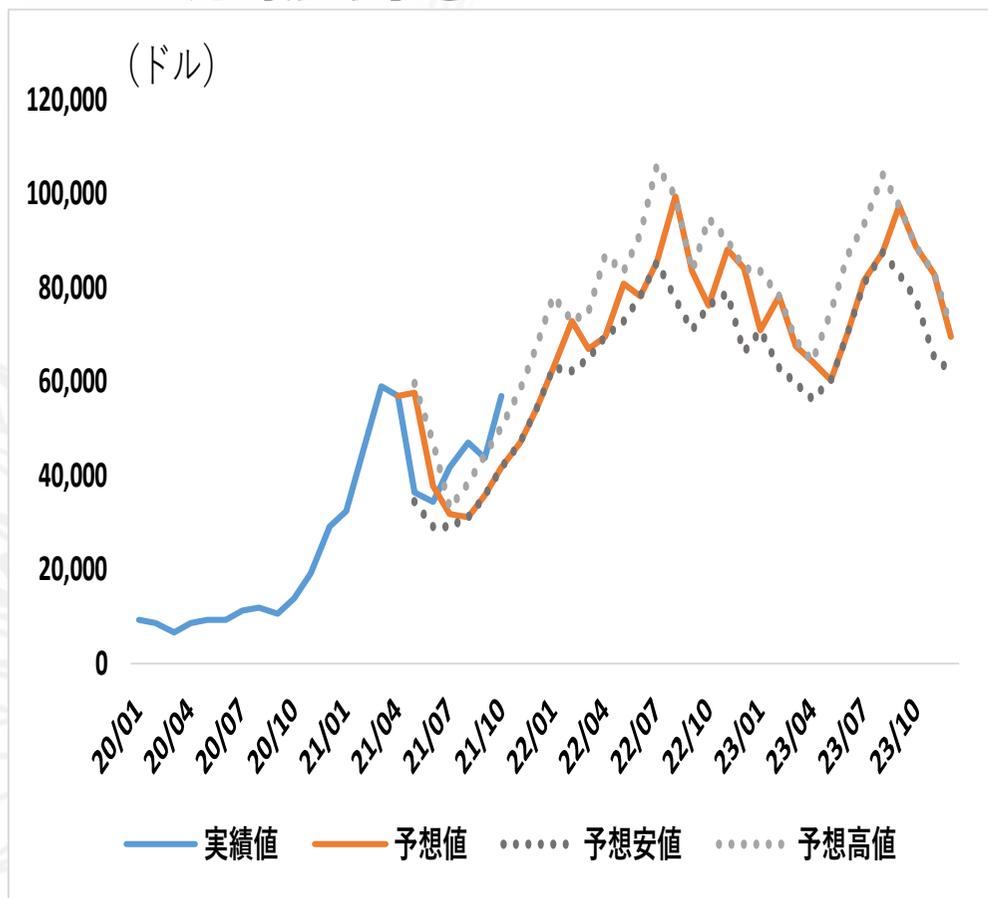


ビットコインの価格予想手法：マルチファクター分析

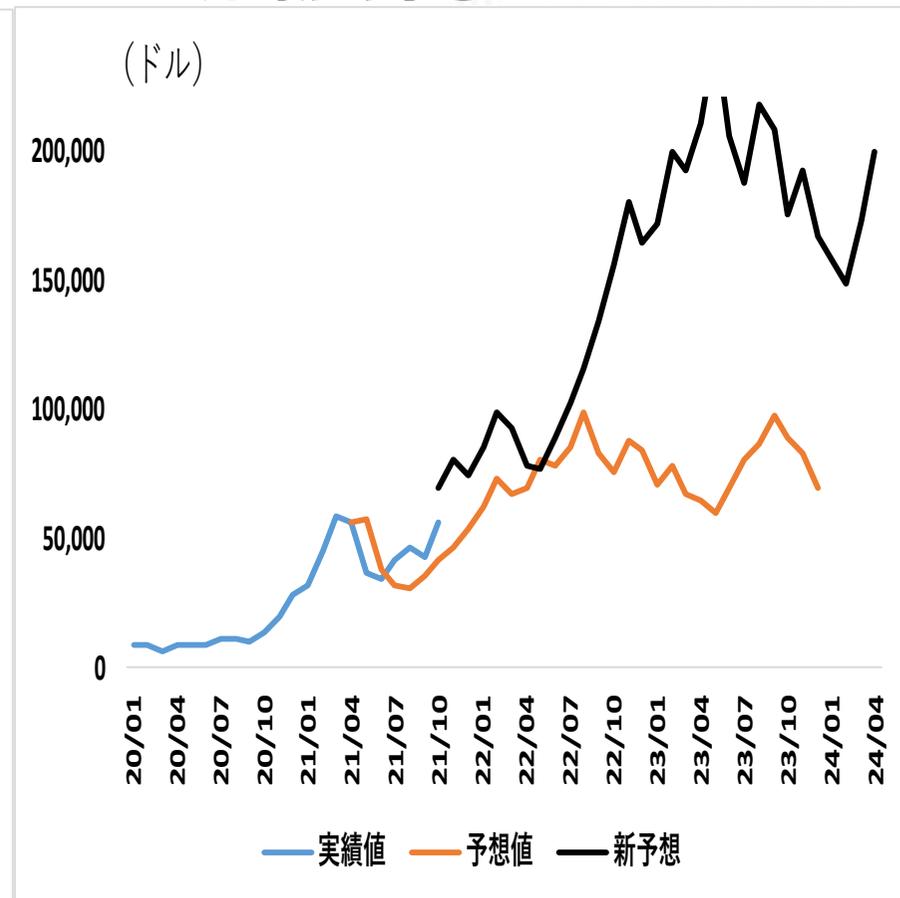
さまざまな要因を考慮。最近の的中率は評価できる。但し、予想モデルの中身はブラックボックス...

Longforecast.comのマルチファクター予想

2021.3月時点の予想



2021.10月時点の予想

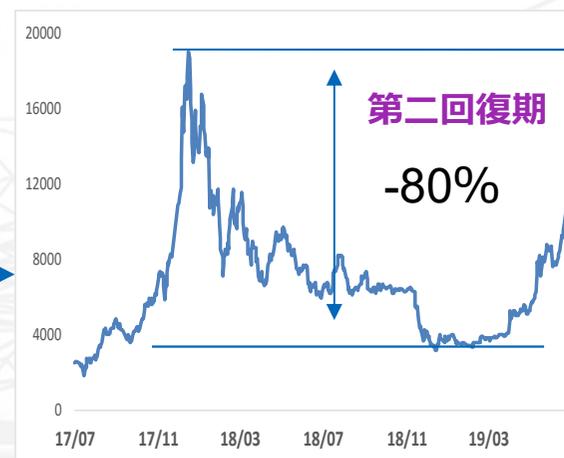
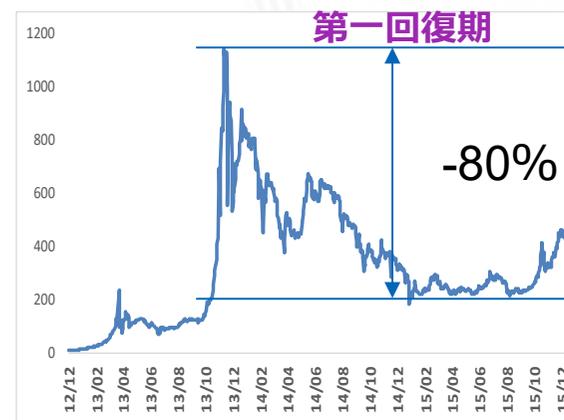
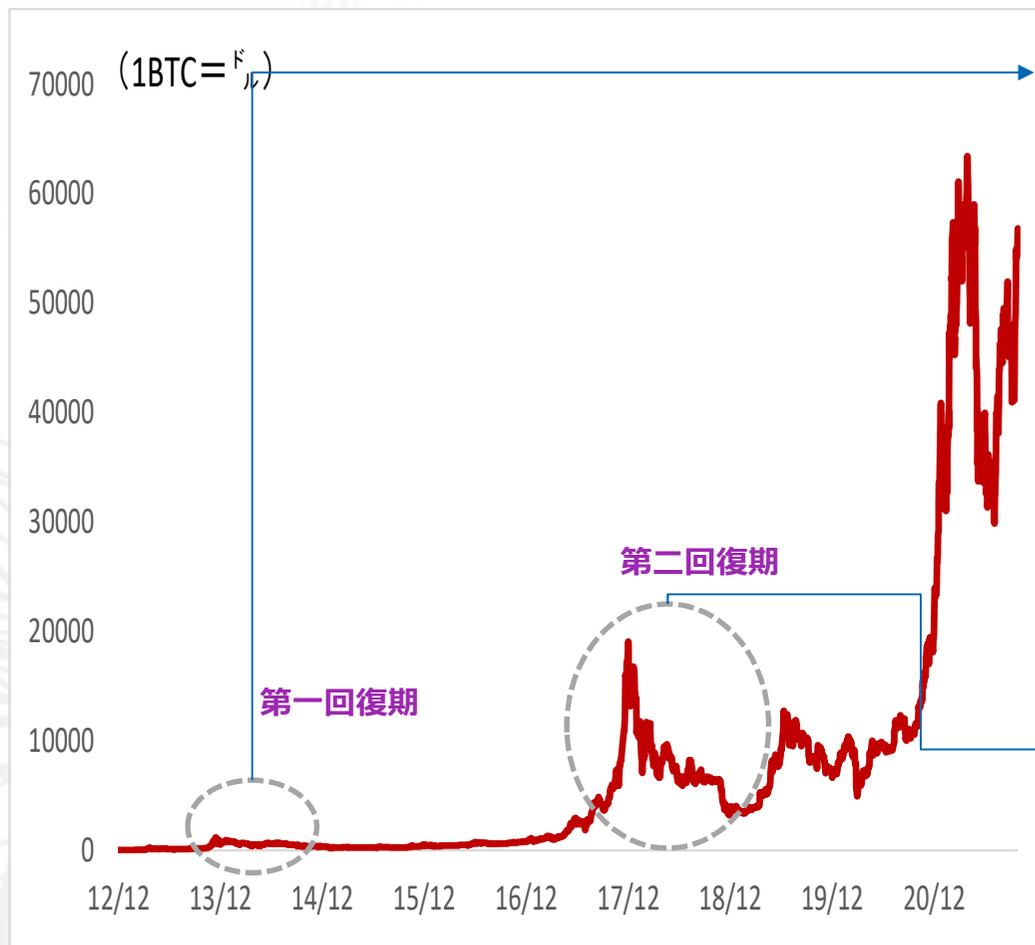


(出所) longforecast.com。価格のサイクル、各種指標との相関、供給量、その資産の魅力度、取引量の増加、規制の度合い、重要イベントの頻度などから算出

ビットコインの価格：底値は？

バブル崩壊？あるいは、寄せては返す“波”か

ビットコインの価格（ドル）



(出所) いずれもBloomberg

中長期的な価格の上限は？

仮に、金の投資用保有残高から試算した場合...

金の投資用保有残高時価総額 = 2兆ドル

ビットコイン時価総額 = 0.8兆ドル (1/12)

ボラティリティ：ビットコイン/金 = 5x



ビットコイン価格長期予想

ボラティリティの差を考慮せず
105,000ドル (現値比2.5倍)

ボラティリティの差を考慮
500,000ドル+ (現値比11倍+)

まとめ：2022年の金融と暗号資産の方向性

◆ 新型コロナ禍で、マネーが猛威を振るった

- ✓ マネーの増加は資産市場に猛威を振るった
- ✓ その分モノや資産の価格は上昇、マネーの価値は低下

◆ 2022年はそれぞれの巻き戻しへ

- ✓ 2～4回の利上げに加え、FRBはバランスシート縮小へ
- ✓ その場合、株価へのマイナス影響は避けられない。暗号資産も少なくとも一旦は売られる覚悟が必要

◆ 長期的にはマネーの形は大きく変化

- ✓ 法定通貨に信頼性の問題
- ✓ 見えないものの価値が変化
- ✓ 結果として暗号資産の価値が上昇するシナリオも
 - 過去の下落時の最安値は直近ピークの8割引
 - しかし、これまでも2回の暴落を乗り越えてきた

◆暗号資産関連店頭デリバティブ取引（暗号資産CFD）に関する重要事項

<リスク>

■暗号資産に関するリスク暗号資産は法定通貨（本邦通貨又は外国通貨）ではなく、特定の者によりその価値を保証されているものではありません。暗号資産は、代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限り代価の弁済に使用することができます。

■取引に関するリスク暗号資産CFDでは、暗号資産の価格変動によって、元本損失が生じることがあります。また、取引金額が預託すべき証拠金の額に比して大きいため、取引対象である暗号資産の価格変動により、その損失の額が証拠金の額を上回る（元本超過損）ことがあります。損失が一定比率以上になった場合に自動的に反対売買により決済されるロスカットルールが設けられておりますが、相場の急激な変動により、元本超過損が生じることがあります。加えて、相場の急激な変動により、意図した取引ができない可能性があります。

<手数料等>

暗号資産CFDでは、取引手数料はかかりませんが、ロールオーバー時に保有している建玉ごとに毎営業日レバレッジ手数料がかかります。レバレッジ手数料は当社が営業日単位で指定する料率が適用されます。なお、その料率は、相場状況によって日々変動するため、固定値として事前にお示しすることができません。また、レバレッジ手数料は消費税等の課税対象です。日々のレバレッジ手数料の詳細は取引ツール内及び当社ホームページよりご確認ください。

当社は、取扱い銘柄ごとにオファー価格（ASK）とビッド価格（BID）を同時に提示します。オファー価格とビッド価格には差額（スプレッド）があり、オファー価格はビッド価格よりも高くなっています。流動性の低下、相場の急激な変動により、スプレッドの幅は拡大することがあります。

<証拠金>

暗号資産CFDでは、取引額に対して一定の証拠金率（50%）以上で当社が定める金額の証拠金（必要証拠金）が必要となります。ただし、相場の急激な変動等の事由が発生した場合には当社判断により変更することがあります。

<その他>

お取引の際は、当社ウェブサイト掲載の「契約締結前交付書面」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。

◆マネックス証券は、暗号資産交換業者ではなく、暗号資産取引を提供していません。

セミナーに関するご留意事項

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。マネックス証券株式会社および説明者は、セミナーおよび関連資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではありません。情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。

提供する情報等は作成時または提供時現在のものであり、今後予告なしに変更・削除されることがございます。当社および説明者はセミナーおよび関連資料等の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。なお、セミナーおよび関連資料等は当社および情報提供元の事前の書面による了解なしに複製・配布することはできません。記載内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

【マネックス証券株式会社】 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

暗号資産に関するご留意事項

【注意事項】

マネックス証券株式会社、及びマネックスクリプトバンク株式会社（以下「当社等」といいます。）は、本セミナーの説明資料及びこれに基づく説明（以下、「本説明資料」といいます。）の内容が真実かつ正確であり、そのうちに重要な事項の記載が欠けていないことや当該資料に記載された暗号資産の価値を保証又は承認するものではありません。

本説明資料に含まれる情報につき、いかなる目的で使用される場合におきましても、暗号資産投資家の判断と責任において使用されるべきものであり、説明資料に含まれる情報の使用による結果について、当社等は何ら責任を負うものではありません。

【免責事項】

本説明資料は、当社等が、特定の暗号資産の売買の推奨、勧誘を目的としたものではありません。

本説明資料の内容・記述は、一般に入手可能な公開情報に基づき、当社等のヒアリング・取材により必要な補充を加え作成されたものです。本説明資料に含まれる情報は、その正確性が客観的に検証されているものではありません。また、本説明資料は暗号資産投資家が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。

本説明資料内で直接又は間接的に取り上げられている暗号資産は、暗号資産関連事業者の経営・財務状況の変化、国内外の金利・為替の変動等の要因により、暗号資産投資家の予期しない価額変動等のリスクがあります。また、過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、または保証するものではありません。

当社等は、暗号資産投資家が本説明資料を利用したこと又は本説明資料に依拠したことによる直接・間接の損失及び逸失利益を含むいかなる損害についても一切責任を負いません。また、暗号資産購入に関する最終判断は暗号資産投資家自身においてのみなされなければならない、当該購入に関する一切の責任は暗号資産投資家自身にあります。

本説明資料の著作権は当社等に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

マネックスクリプトバンク株式会社



マネックス証券株式会社

〒107-6025 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル25階
<https://www.monex.co.jp/>

Copyright © Monex, Inc. All Rights Reserved.